

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年7月20日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎県庁	代表者名	知事 河野 俊嗣		
担当者部署	総合政策部デジタル推進課	連絡先電話番号	0985-26-7045		
担当者役職	主査	担当者氏名	小牧 信也	連絡先E-mail	
住所	0985-26-7045 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	デジタル庁が進めている自治体情報システムの共通化・標準化に関する経緯、現状及び今後についてをGov-Cloud先行事業の状況を踏まえてご説明をいただいた。システム共通化・標準化について仕様書等は随時示されているが、実際にどこからどう取り組んで行けば良いのかわからないという意見も市町村職員から寄せられる中、今回の御講演、意見交換会を通じて、市町村・事業者・県として今後各々が何をどう取り組んで行かなければならないのかをご教示いただき、各自治体・事業者における今後の取組を進めて行く上での大きな道筋が立てられたものと感じております。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。ご提示いただいた資料、御講演内容共に非常にわかりやすく、今年度より担当となったと思われる職員に向けても改めてシステム共通化・標準化が必要となった経緯からご説明いただく等、丁寧な助言、支援をいただきました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月15日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時30分	16時30分	75
				活動時間（分）	285
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎県庁	最寄駅	宮崎駅	
	所在地	宮崎県宮崎市橘通東1丁目10番地1号	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	県及び市町村職員、システム開発事業者	70人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体システムの標準化・共通化、行政手続きオンライン化について重点的に取組を行っている状況であり、特に今夏には標準化に関する仕様書が新たに示される等、日々動きがある状況である。これら取組においては期限も決められているところ、方向性を誤ると、取組進捗に大きく影響が現れることもあり、各自治体の取組状況の把握に勤め、また最新の状況を随時展開していく必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	自治体システムの標準化・共通化およびGov-Cloudの状況についての御講義および、市町村が抱えている課題点・疑問点に対する相談会・意見交換会を通じて自治体および事業者がそれぞれの立場で何をすべきなのか、どう取り組んで行くべきかを最新の情報を踏まえて改めて確認・認識することで今後のさらなるDX推進の取組につなげる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・自治体システムの標準化・共通化について → 経緯、目指す姿、仕様書における考え方（機能要件、帳票要件、データ要件等）、スケジュール、BPR、適合確認、Fit&Gap分析の具体的な手法について ・Gov-Cloudについて → 概要の再確認、先行事業踏まえた現状の説明 ・自治体が抱える課題・疑問点への質疑応答及び助言	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後のシステム標準化・共通化、行政手続きオンライン化において、具体的な取組が加速すると思われます。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自治体システムの標準化・共通化について、夏の仕様提示も含め、最新の情報を収集しつつ、正確な解釈・作業への落とし込みを実施しながら取組を進めていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし(アンケート調査ではなく、自治体DX推進計画に基づき、今後示される標準仕様に沿って各自自治体各々で計画立てて取組を進めていただくこととなります)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	県としては、PMOツール等を用いながら各市町村を引き続きサポートしていく。 各市町村においては、システム標準化においては2025年度末までに標準化システムへ移行し、手続きオンライン化においては今年度末までの実装を目指す。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

<県との意見交換>



<県・市町村・ベンダ向け講演+相談会(意見交換会)>



